

タウンミーティング議事録

1 日時

令和6年12月21日（土）午後1時30分から3時00分まで

2 場所

おおたかの森センター

3 出席者

（1）特別職等

井崎市長、石原副市長、吉田教育長

（2）部局長等

須郷総合政策部長、吉野市民生活部長、伊原健康福祉部長、
竹中子ども家庭部長、伊原環境部長、梶まちづくり推進部長
染谷土木部長、南学校教育部長、石川生涯学習部長

（3）事務局

司会 影山秘書広報課長
秘書広報課職員

4 来場者数

30名

5 質疑回答

裏面のとおり

Q 市民

2点質問します。

1点目が、学校の樹木管理についてもうちょっと徹底して欲しい。道路公園の樹木管理はよくされているんですけども、東深井小学校、西深井小学校、あと東深井中学校は樹木が高木化して、手がつけられない状態になっていて、もう手をつけていないというのが現状で、東深井中学校の東側の樹木については、昨年から全部伐採したと。ということは、もう伐採するしか手がないというような状況になっていて、もったいないなというところもあって、その辺を考えて欲しいと。教育委員会でできないんだったら、みどりの課で、ある程度担当して、やってもらってもいいのかなと。

もう1つは、樹木に関してはみどりの課が市全体で計画を持って、事務管理をするというのも1つあるんじゃないかなというふうに思いました。

2点目は、自転車の利用ヘルメットの購入補助金について検討して欲しいと。以前アンケートをとってやりましたという報告があったと思うんですけども、令和5年から努力義務になったんですけども、自転車事故の死傷者の大半は、記録を見ると64.7%は頭部損傷による死亡となっていると。あと自転車による死亡者数を今年の11月末の千葉県警の報告では12から16に増加していると。千葉県のヘルメット着用率は、全都道府県の36番目、ブービーなっていると。6.5%というふうに聞いて千葉県警も、どうにかしないとしょうがないというふうに言っていました。

あとは、千葉県の市町村のヘルメットの補助率というのが60%で低いと。なぜ低いのかはわからないんですけども、それを考慮して補助金の検討をしていただきたいと。以上です。

A 教育長

東深井小学校の樹木についてということで、昨年度の樹木については東深井小学校でいえば体育館周りですとかプールのところ校庭周りとか、多少伐採等やらせてもらってはいるんですけども、確かに東深井小学校は、たくさん樹木があって、日々ご迷惑おかけしてしまっているところは、この場を借りてお詫び申し上げたいと思います。

我々も予算をしっかり確保して、必要な剪定だとか、樹木の伐採だとかというのは行っていきたく思いますし、樹木をそのまま放置しておく、最近、倒木だとか台風の際だとか、危険だという声も確かにございますので、

今後も引き続き適正な管理に努めていきたいと思いをします。

東深井中学校、確かに伐採させていただいたんですが、ネットと樹木がもう一体化してしまって、樹木がネットの網をもう破いてしまうというような状況もあり、また、近隣住民からも、落ち葉を何とかして欲しいというような声もありましたので昨年度、一気にやらせていただきました。

同じように市内、すべて一気にというのは難しいかもしれないんですけども、剪定と伐採を織り交ぜて、予算の範囲内でしっかりと管理していきたいと考えております。

A 土木部長

ご質問ありがとうございます。

自転車用ヘルメットの助成についてお答えさせていただきます。

まず、先ほどもお話があった通り、昨年8月24日から9月30日まで、流山市LINE公式アカウントの中で、アンケートを実施いたしました。集計総数といたしましては275件の回答をいただいた中で、まず、そもそもヘルメット着用の努力義務を知っている方と知らない方で大半の方は知っておられました。その次に、先ほどもありましたけど、着用率ということで、実際着用されていますか、してないですかの問いに対しては、やはり8割の方が、着用してないというのがその当時の回答でございます。ヘルメットを着用しない理由といたしましては、置き場とか、持ち運びに困るからという方が43件、そして暑いからまた髪型が乱れるからということ、格好が悪いとかということをお答えいただいた方も60件、そもそも罰則が努力義務だから被らないという方も56件ございました。その中で、ヘルメットの値段が高いからということをお答えいただいた方が25件ということで、全体の率でいきますと9.85%の方が、値段が高くて買えないというお答えでいらっしゃいます。大半の方が置き場や持ち運びに困る、髪型が崩れるなどの回答のため、やはり本市といたしましては、まずこのヘルメットに関しましては、自発的に被っていただくということが一番大事かと思いをします。警察庁と警視庁で今年の11月1日から、ヘルメットを含めてなんですけども、道路交通法の改正がございました。罰則が強化されるということで、運転中のスマホであったり、酒気帯び運転及びほう助、自転車で来ている人にビールをどうぞということをもともと皆さん罰則を受けるということで、法律が厳しくなりました。

ですので、そういった中でヘルメットというのは、今努力義務ですけども、近い将来、努力義務から罰則の対象におそくなるのではなかろうかと思うんですけども、先ほどの繰り返しになってしまいますが、やはり自発的にご自身で頭部を守ることが一番大事かと思imasuので、市としても、毎月15日に自転車の日があり、各駅の周辺や小学校中学校の生徒さんはじめ、一番主となる学校の近辺の大きな交差点でも啓発活動で、ヘルメットを被ることが命をまず第1に守れますというような啓発を、引き続き強化してまいりたいと考えております。

Q 市民

2点ございまして、1点目は、学校関係なんですけれども、今年、社会福祉協議会のイベントで、流山小学校の校長先生がおっしゃっていたんですけども、ベテランの先生が減ってきていて、先生方の人数的に足りないというおっしゃり方だったかは覚えていないんですけど、ご高齢の方を招いてのイベントで、その準備で行ったんですけども、すごくお子さんたちもいろいろ頑張っていらっしゃったんですけど、先生方も、ご苦労のところもたくさんあって、それってどういうことなのかなとその情報をいただきたいこと。

もう1点は、防犯カメラの点で、うちはマンションですのであまり気になんないんですけども、いろいろな自治会の会長さんとお話をしましたら、戸建ての多い自治会の方は、防犯カメラがあるとないとで本当にもう防犯的に違うということで、昨今の闇バイト関連とかの恐ろしい事件とかあるんで、マンションはもう自分たちで自腹切って、防犯カメラつけますと言ってみんな賛成といってつけましょうで終わりなんですけれども、戸建てエリアの方達のつけるのに市は補助金出してくださるんですけど、後々のメンテとかの分をやっぱりもうちょっと助成いただかないとつけようと思っても、後のメンテナンスのことから考えると設置に迷いが生じるとおっしゃっていた自治会の方もいらっしゃったので、その戸建てエリアの方たちのとこなんですけど防犯カメラについても、本当に恐ろしい事件が立て続けに続いているので、ご考慮いただきたいなど。

A 学校教育部長

流山小学校の行事等も含め、様々な面でご協力いただいて本当にありがと

うございます。まさにそういった方の力で行事等もできておりますので本当に感謝申し上げます。

お話があったところですが、まず先生方の若返りが進んでいるという事実がありまして、ベテランが減っているというよりむしろその若手が増えているという状況でございます。

そのあたりのことについても、学校現場は苦慮しているところですが、様々な研修体制等も踏まえて、それぞれのノウハウなどについては、各学校で努力して伝達等について進めているところでございます。

あと、併せて教員のなり手不足というのも全国的な問題になっているところでございます。これもまた事実でございますが、我々としても、本市は子供が増えているので、毎年、県の方に教員の配置ということについては、増員も含めて要望しているところであります。つい先日にも教育長のほうから、県の教育委員会に、直々をお願いしてきたところでございますので、今後ともそういった要望を進めていきたいというふうに考えております。

A 市民生活部長

防犯カメラでございますが、まず自治会がつけるにあたって補助金活用する場合は、市の方に事前の要望や申請が必要になります。その時に将来的にこれだけ維持管理費がかかりますという説明をしております。

ただその時はご理解いただけたとしても、自治会長や役員が変わってしまいますと、なぜ自分たちが管理しないといけないのかというご意見もあることは認識しています。

さらに自治会がつけるときには、市がつける場合と同様に警察との協議が必要になります。市がつける場合は、防犯の効果的なところ、犯罪がありそうなところを警察と十分協議をしてつけておりますが、自治会と警察との協議にあっては、自治会の自主性を優先する場合もあるなど、必ずしも必要な場所ではない場合もございます。そういうことを鑑みますと、大変申し訳ありませんが、市から維持管理費を出すということは難しいです。

また、更新の場合ですが、もし更新ができなければ、その場所について市の方に要望を出していただき、市が警察と協議しまして、防犯上そこは必要だということであれば、市の方で設置したいと考えております。

Q 市民

流山市高齢者免許返納一時金制度、タクシー利用助成券の使い方について4点ほど意見を言わせていただきます。

1点目、支払い時に運転手へ、運転経歴証明書を提示することとなっていますけど、提示しなくてはいけないのかどうかということ。

2点目、1回の乗車では、1枚しか使えないです。450円券。これを3枚か4枚使いたい。例えば、東葛病院に通うと、約1,300円かかっちゃうんです。そういう場合に3枚か4枚使えないのかどうか。

3点目、有効期限が1年です。私21日で期限が切れちゃうんですけども。

4点目、本人以外は使用できないです。これを連れ合いとか家族が何とか利用できないものか。この4点です。

知人とか友人とかにいろいろ話ししてみたらそりゃ不便だよな。それじゃやっぱ使う人は少ないんじゃないかという意見もありまして、事情はあることは承知しています。でも、何とか使う側からすると、こういうことを言いたく、やらせていただければ、ご検討いただければと思います。

A まちづくり推進部長

免許返納に関しての御意見ということで4点お伺いしたんですけども、1点目の証明書を見せなきゃ駄目というのは、先ほどの4点目にも関わってくる話なんですけども、基本的にご本人様ではないと、例えば自分の息子さんとかに貸してしまうと、75歳以上の方を対象にしていますので、若い方に渡して使われてしまうということもありますので、提示については、引き続きお願いをしたいというところがあります。

1年間しか使えないというお話ありましたけども、こちらの免許返納制度につきましては、ニュースでもいろいろ流れていますけども、高齢者の交通事故が多発しているというのもありますので、自発的に免許返納していただくのが1つと、もう1点は返した後の、市内公共交通を皆様にご利用していただきたいと、そこに慣れていただきたいということで始めているものですので、これは毎年毎年というふうに皆さんに制度としてお渡しするような予定はございません。

あと2点目の1枚しか使えないというお話ですけども、御意見としてお聞きさせていただければと思います。

Q 市民

いつもタウンミーティングに来るんですけど、なかなか発言することがなくて、今日当てていただいてよかったんですけど、ここに来るまでに質問が1つ昔から決まっていたんですけど、ここに来て3点ほど思いついたので3分以内に質問させていただきます。

1点目は、江戸川台東に昭和40年ぐらいから住んでいますけど、その自治会長です。そこで、昔カドヤがあったところに今業務スーパーが建っているんですけど、その信号と信号の間の横断歩道は、渡るときになかなか手を挙げても止まらない車が多くて、お巡りさんもしょっちゅう立っているんですけど、その時はやっぱり運転手が気付いてやっているんでしょうけど、警察の方と連携して、もうちょっと強化していただけると捕まる運転手もいっぱい出てくると思います。本来は、横断歩道に人が立ったときには、止まらないといけないあるいは徐行しなければいけないんですけど、手を挙げて止まらないと或いは例えば片方が止まってくれたとしても逆方向の車が止まらないとか、しかも運転手さんがむきになってスピードを出す人もいますから。

2点目は定年になりまして、生涯学習センターとかに行っているんですが、流山セントラルパークの生涯学習センターに、国際交流協会というところがあって、そこに部屋を借りてやってもらっているんですが、そちらの受講料は生涯学習センターの直でやるよりは半額なんです。なんで半額かというと、協会が補助しているからです。今のままでも仕方ないんですが、今後、来年度になったら、値上げする動きもあるので、そうなりますと、松戸の聖徳大学とかカルチャーセンターとか柏の葉カルチャーセンターとか同じような値段、それを超えてしまうぐらい高くなるんじゃないかなと思っていますので、その辺は聞いてみたいと思っています。

3点目、これ一番大事な話なんですけど、江戸川台駅東口の方で、この度立ち退きがあってビルがなくなって更地になったんですけど、私はそこに車道を期待していたんですけど、全然車道が広がる見込みがなくて、めちゃくちゃ広い歩道があそこいっぱいありますけど、渋谷駅前じゃないんだし、或いは金町駅の前って狭くてバスがいっぱい通るんですけど狭いんです。だけど、江戸川台駅東口は歩道がものすごく広くて、誰も通ってないのに広いんです。だから、あそこはもっと車道を広げればいいんじゃないかと。なぜならばバスの運転手さんがちょっとでも車が停まっていると切り返さなければ

通れないとプロじゃないと運転できない状態です。だから、広げればいいと思うんです。もし広げて不法駐車が多くなって困るというのであれば、それはそれで取り締まればいいんじゃないですか。たばこのポイ捨てに関してもそうですけど、ほとんど警備員を見かけたことがないので、そういうのを強化してやれば大丈夫だろうと思います。以上よろしく願いいたします。

A 土木部長

1点目の横断歩道の強化でございますが、ちょうどご説明にもあった通り、前後に、信号は駅前の商店で出たところの信号と、もう一本南側に、十字路の駅前それこそ駅前線の交差点ちょうどその間の部分に当たろうかと思うんですけど、そこに横断歩道がございます。

所管がどうしても警察にはなるんですけども、市としましては、その前後のところの路面標示や、横断歩道を、市内をぐるっと見られますと、歩道が白色と緑色に塗られているというところがたまにあります。全部になってしまうと、あっと驚くというふうには当然なりませんので、ちょうど江戸川台駅周辺のところには、江戸川台小学校など学校が近くにありますので、何らかの形で、教育委員会ともタッグを組んで、警察とも協議をして、子供たちまた、商業施設を利用されるというのは、なかなか私うまく言えませんが、ご高齢の方また駅への利用者などの方々の横断に、安全に渡れるような対策というのは、今後検討して参りたいと思いますので、今まだ何も塗られてない状態で、警察に頑張っているような状況ではあるんですけども、市でできることについては、詰めて参りたいと考えております。

A 生涯学習部長

日頃よりエルズを御利用いただきましてありがとうございます。

ご参加いただいている講座の参加料というお話ではございましたけれども、団体でやっている場合もありますし、指定管理者の方で行っているものもありますので、後程タウンミーティングが終わりましたら、どういう講座に参加いただいているかを教えていただいて、申し伝えたいと思います。

A まちづくり推進部長

私から3点目の江戸川台駅東口の再整備をしているところでありまして、ご存じの通り、東口が少し手狭な状態で、例えば雨の日であると、バスとか

停まっていると乗用車が走れないとか乗用車が送り迎えなどでいっぱい停まったりしていると、バスが通れないとかそういう狭い状況になっているのは、我々も承知しているところです。今回、ビルがなくなったことはご存じだと思っんですけども、そこも含めて、駅前広場を、バス自体も中に入りきれていない状況の場合もあります。送迎で来る車もなかなか停めきれない。そういう状況もありますので、その辺をクリアするように、中をぐるっと広くして、バスを全部中に入れて、送迎もできるように、もちろんタクシー、障害者用のものもすべて中に入るようなことで、中を広くするように考えていますので、警察と協議を進めながら設計を進めている段階です。

また、ある程度詳細が出てきた場合には、皆様にもわかるように提示したいと考えています。

Q 市民

給食費の値上げについて聞いたのでお聞きしたいなと思って、参加しています。私も、給食費を20%値上げするという話を12月9日に聞いて、11日にすぐ抗議文を教育委員会に持っていきました。まだ予算的なことについてちゃんと検討もしていないで、すぐ保護者に20%も年間で1万円もの負担を、転嫁するのはおかしいのではないかというふうな意見を出しています。

それからあともう1つ、今、署名を4桁集めているんですけども、第3子はもう無償化ですけども、第2子以降から無償化にして欲しいという書面を12月中に持っていきたいと思っています。

このように全体的にもう教育の無償化だとか、給食費の無償化とかっていうのは、もう6年間で8倍にも何倍にもなっている。

しかし、給食費については、20%上げても、保護者の方には発表という形でしか知らせないということおかしいと思います。ぜひ、教育はやっぱり無償化、お金なくたってアルバイトして、100万円も稼がなくちゃいけない世の中というのはやっぱりおかしいと思います。お金がなくても、安心しておいしい給食を食べることができる世の中の方が私はいいのではないかと考えています。

そして、お金がないからって、私いつも聞いているんだけど市長さんの顔見て、ぜひ答えていただきたいんですけど。みりんミュージアムがいけないっていうわけじゃない。少しお金を使って、ちょっとだけやってもいいと思

う。あと道路まで作っているって、井崎さんってすごい、私の友達もすごくファンがいて、最初のときに結構応援した方がいるんですが、なんでそうなっちゃったのかなあ、わからないのかなあ、そんなこと必要なのかって言う人が近くにないのかなといつも思っております。

市役所に行くと、昼はいつも真っ暗の中でお食事なんか皆さんなさっていて、本当につらい思いをしている。その節約を一体何のために使うかっていうと、優先順位、やっぱり命とか、子供を大事にする。幼稚園のことでもそうですけれども、そういう市政にして欲しい。

追加で2つ目、運河に住んでいるんですけれども、江戸川台やおおたかの森はいいなあと思うんです。私は運河駅西口に住んでいますが、命の危険を感じながら、駅に行くんです。それで何とか整備してくれるっていうふうなことで、すごく楽しみにしておりますので、今の進捗状況、地権者がどこないとかいろいろなことはあるけれども、何でこんなに毎日毎日、道路通るんですけれども、差があっていいのか、バランスはとれてない市政というのはやっぱりおかしい。よろしくお願いします。

A 教育長

給食費についてご意見ありがとうございます。

実はまだ最終決定しているというわけではなく、1月に保護者の方々に、給食費についてご報告をする予定になっておりますので、現時点で言うと、我々、教育委員会内部で検討しているのと、市議会議員の方々にこの前、全員の市議会議員の方々に状況を説明させていただいたところですので、なかなかこういう公の場で、どうこうっていうのは難しいところではあるんですけれども、値上げを検討しているというのは事実でございます。おっしゃるように、どなたかから聞かれたかもしれないんですけど、20%程度値上げということも考えております。

これは、昨今の物価高の影響によって、どうしても値上げせざるをえない部分なんです。10年間流山市は、給食費をずっと据え置きで、10年前と同じ金額でやってきたんですけれども、なかなかこの物価高には対応することは難しいということもありまして、現行の学校給食法では、給食費、食材の負担は保護者負担というのが原則になっておりますので、こちらについて、保護者負担を20%程度お願いするかもしれないという予定でございます。

A 土木部長

運河駅西口の流山街道について、今の状況をお答えさせていただきます。流山街道につきましては、もともと歩道がなく歩道の走行するスペースが、かねてからの課題ということで、安全安心で歩道を歩けるスペースがないがために、過去に様々な事故が起きているということを、承知しております。

それには、用地の確保が必ず必要になりまして、さらには、地権者の方のご協力は必要不可欠となります。今年の6月から7月にかけて、関係する地権者の方々へ事業の協力について、ご意向を確認しました。

それぞれご事情もございまして、協力することは非常に難しいというお話を多くいただいております。このため、まずは現状において、対応可能な安全対策については、当然検討してまいります。

ですが、粘り強く、その沿道の地権者の方にも意向確認を継続して行ってまいりたいと考えております。

Q 市民

今回2つありまして、1つは美田地区、たくさん新しい家もだんだん建ってきていまして、薪ストーブを設置するような方が今2軒ぐらいいます。段々増えてきていて、薪ストーブになりますとすすが出たり、それからおいが出たりするんです。流山市に聞いてみたら、野焼きは規制があるんですけども、こういう薪ストーブについては全然規制がないということがわかったんです。

先ほど言いましたけど薪ストーブは煙とかすすとか悪臭が出るんです。またもう1つ問題なのは、薪ストーブの煙突というのは屋根からちょっと先に出ているぐらいなんです。そうしますと臭いが、ダウンバートと言って下に落ちてきちゃうんです。まず、規制がないということです。既存ベースで煙突薪ストーブを設置している方に、市として、どういう薪ストーブがついているとか、業者はどことか、メーカーなどを聞いて届け出ることが必要だというふうにしてもらいたいんです。次は、設置をした方には、年1回以上の清掃を義務づけてもらいたい。すすとかがでますので。あともう1つ臭いを防止する装置というのは、薪ストーブのメーカーさんに聞くとあるんだそうです。実は設置してない方が結構いらっしゃるということもわかってきているんです。ですから、設置した方には清掃とか、臭い防止装置の取り付けとかの義務を、ぜひ条例として作ってもらいたいなというふうに思っ

ております。

あともう1つが、普段乗っているコミュニティバスです。昔は夜も20時過ぎぐらいまであったように思うんですが、働き方改革っていうんでしょうかね。そういう意味で、今19時になりますと、もうバスがないんです。そうすると、とても早いですよね。前は夜20時過ぎでも飲んで帰れたような気がするんですが、バスしか使っていないことになると、19時だとしても早いんで、おたかの森周辺にはいい飲み屋さん、食事のところがいっぱいありますんで、こういうのは使えないんですよ。イオンさんなんか無料のバスを走らせているぐらいですから、ここでも東神開発さんとか、大和ハウスさんとか、結構業者さんが入っていますよね。ですから、そういうところから協賛金をもらって、できれば夜19時以降、バス2・3本出してもらえるような構想ができないのかなあと。あとは、もしかすると、少し値上げすれば、人が確保できてできるのかなあということもあるかもわかりませんので、そういうことを考えていただきたいなというふうに思っております。

A 環境部長

薪ストーブについては規制がないというのは事実でございます。

現在は、苦情というか、そういったものが寄せられた場合には、その方のお家に訪問しまして、近所の方から、例えばにおいですとか、煙など問題がありましたということでお話をさせてもらって、できるだけ控えてもらうような形で協力をお願いをしているところが現状でございます。

実際に、苦情というのは、そんなに多くはないところがございまして、現在は、規制などそういったところまでは、考えていない状況でございます。

A まちづくり推進部長

美田駒木線ぐりんバスの終バスが早くなったことについて、今現在市内6ルートでぐりんバスを運行しているところなんですけども、先ほど、お話ありましたが、運転手不足とか働き方改革もありまして、減便をせざるを得ない状況になっております。

平日につきましては、夜の利用者の少ないところに対して減便をかけており、土日休日につきましては、朝と夜と両方の減便をしているような状況になっております。先ほど、値上げをすればという話もございましたけども、バス事業者さんといろいろお話をさせてもらってる中で、例えば、市の方が

らお金を補填したら、減便せずにできないのかということをお話させてもらっているんですけども、バス事業者の方からも、そういう問題ではなく、人がいないんだということなので減便をせざるを得ない状況となっております。

あと先ほど民間からバスをとということなんですけども、我々の方から民間にお願いするということは難しい部分もありますので、今運営をお願いしているバス事業者とも、引き続きいろいろと意見交換をさせていただきながら進めていきたいと考えておりますので、ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願い致します。

Q 市民

2点ございます。

1点目は要望です。おおたかの森1丁目なんですけれども、ハクビシンがこの頃出ているんです。お友達が、ハクビシンが出たので、いろいろ野菜など食べられるから、市の方にお話したら、農家の家の人でなければ、捕獲するものを貸してくださらないというお話だったんですね。こんなところでハクビシンなんてと思っていたら、うちの車庫のところにじゃがいもを置いておいたらやっぱりハクビシンに食べられていたんです。やっぱりいるんだと思って、そんな話を周りの人に聞いたらやっぱり出ているそうなんです。

だから、ハクビシンがもしおおたかの森1丁目や2丁目のあたりで出ると、衛生上もよくないので、ぜひ駆除するものでもあれば、貸していただければなという皆さんのお話がありました。

あと1点は、自治会加入をぜひ皆さんにさせていただきたいなということなんです。能登半島にしても自然災害もすごくたくさんあります。その中でやっぱりお互いコミュニケーションを持っているもの同士は、親密にああでもないこうでもないと話ができるけれども、そうじゃないと、ぽつんと1人いるってというような状態になると思うんですね。うちの方の自治会は、全員加入しています。そのために、いろいろな活動を通して思うことは、老人はだんだん足腰弱くなってきますけれども、自治会の中で一緒に皆さんと体操をしたり、或いはイベントの中で子供たちに、鮎をプールに放してつかみ取りをさせたり、そういうことをしている中で、人と人とのコミュニケーションをすごく持つことができるようになりました。そういう中でこれからの社会では、やっぱり地域の人の繋がりというのがすごく大事になってくると思

うんです。ぜひ、数年前にもこのタウンミーティングで、自治会の活動を盛んにするために、自治会に加入していただくようにお話したことがあるんです。その時に、コミュニティ課で、その後どのように、皆さんが加入されているのか、私も自治会に加入しようという立派なポスターを見たこともあるんですけども、ぜひ市の方でも、その自治会活動を盛んにしていっていただけたらなというふうに、自分が活動して実感しているんです。1つはこれから老人社会になる中で、お互いが助け合って、生活していく。それからあと子供たちの教育のためにもすごく大切なことだと思うんです。自治会の中でお互いコミュニケーション持っていけば、子供たちが、つい先日なんですけれども、南口の大きな広場で落ち葉拾いの活動をしたときにも、子どもが参加していたんです。褒めたんです。そうしたら、歩道のパトロールをしていたときに、「こんにちは、この前は偉かったね」って言ったらニコニコして帰ったんですね。そんな教育もできると思うんです。ぜひ自治会活動に加入するように推進していただきたいと思います。

A 環境部長

ハクビシンはそういう扱いでやっております。

それはアライグマではなくハクビシンということでよろしいでしょうか。アライグマは、特定外来生物と言って、駆除する動物に指定されているものでして、私たちの方で、貸し出しをして駆除をしているんです。

ハクビシンは、特定外来生物とか駆除する動物に位置付けられていないため、環境部としては、動物との共生ということもやっていますので、いるから駆除するということではなく、今回はじゃがいもを食べられたということです。例えば畑のまわりに柵をすとか、そういった方法で、防いでもらうようなことを考えてもらいたいなというふうに思っております。

ハクビシンというのは、一般のお家ですと、例えば、どこかに小さな穴が空いているとか、そういったところから出入りしているんです。そういった場所を見つけてもらって、塞いでもらうことによって、いなくなることもありますので、そういったこともお願いしたいなと思っております。

A 市民生活部長

自治会の加入促進についてお答えします。

日頃から流山市の安心安全のために自治会活動にご尽力いただきまして、

ありがとうございます。市としましても自治会は重要なパートナーだと思っています。昨今、自治会加入率が昨年の１０月時点で、約６０％という状況です。これは年々、減少している状況でございます。若い方が、市にかなり入ってきていまして、自治会活動において、役員をやりたくないとかそういう意見もあることは認識しています。

私どもでも、ＩＣＴ化を事例としてやってみたり、または交流の場を、年１回設けまして、自治会長を講師として招きまして、先進事例として発表したりしています。今後も地道にそういう活動を実施していきたいと思えます。

参考に、来年の１月２５日に自治会フォーラムというのがございます。事例報告としまして、松ヶ丘旭自治会の太田自治会長が自治会活動について発表しますので、事前に申し込みが必要なんですが、もしお時間があればぜひ参加していただきまして、こうすれば加入率が上がるとか、参考になるかもしれないので、よろしくお願いいたします。

A 市長

ハクビシンの件については、例えば農家とか、少し人口密度の低いところでの家での話ではなく、密集した住宅地の中での話ですので、環境部が一度伺って、そして、どこにいるか全くわからない状況ですから、まず現地を確認します。

Q 市民

３点ほどお伺いをしたいと思います。

まず第１点ですが、ここ１０日前ぐらいに西初石小学校のＰＴＡが実はなくなりますと、こういう情報を得ました。流山市の考え方としては、やはりこれからどんどん子供が増え、現在、小学校、中学校の増設されてきたと。やはりＰＴＡ＝保護者の会でありますので、それぞれ子どもの悩み、問題、これを学校側といかに協議して、住みやすいまちづくりをしていくか、また、子育てをしていくかと。最近できた小学校にもＰＴＡがないというこういう情報から感化され、西初石小学校のＰＴＡがなくなったのではないかと。今後、やはり子育てをするなら流山というキャッチフレーズの中で、果たしてＰＴＡがなくていいのかどうか、現在、流山市として考えておられるいわゆるそのＰＴＡに対する考え方、これについてお聞かせいただきたいと

というのが1点です。

2点目が、若葉台＝最寄り駅は初石駅でございます。現在、初石駅につきましては、物流倉庫がいっぱいできまして、グループ会社のGLPのバスが出入りしております。従来、それ相応のスペースがあったんですが、送迎バスがどんどん入ってくるによりまして、一般市民が送迎する通りのスペースが大変狭くなっておりまして、大変困っておられる方がいらっしゃいます。初石駅のいわゆるリニューアル、それともう1つは、再開発をするということをお聞かせいただいておりますので、今、GLP等々企業がどんどん入り込んでくることによって、スペースが、やはり安全確保ができない。これに対する考え方を、ぜひお聞かせいただきたい。

それと最後3点目、現在流山市においては、おおたかの森に一極集中しているように感じております。コミュニティバス＝おおたかの森に発着しております。ただ、初石駅には、通っておりません。若葉台在住者からしてみたら、70歳以上が40%、特に80代以上の方が結構多いと。初石駅まで歩くのが大変だ。すなわち、コミュニティバスをぜひ初石駅経由にしたいだけかもしれませんというご要望とあわせまして、その買い物難民ということで、セキチューホームセンターというのが、おおたかの森駅と初石駅の間の交差点にございます。ホームセンターに行くにも大変不便で、周辺にあまりバス停がございません。その辺を、ぜひ、特に高齢化に伴いまして、コミュニティバスを最大限、高齢者にとって、有効的に活用できるような停留所なり設定をしていただくと大変助かります。

以上3点、よろしくお願いいたします。

A 学校教育部長

これまで、様々なPTAの活動にお力添えをいただいている方が多数いらっしゃるということを私十分把握しております。本当にいつも今までもありがとうございます。

このPTAの組織につきましては、我々が特に統括しているというものではないんです。我々としては、学校と保護者とが常にいい協力体制、連絡体制の中で、先ほどのコミュニティスクールという話があったんですけれども、地域も巻き込んで学校の子どもたちを、みんなで見ていこうというふうなそういった形ができればいいというふうに考えているところですので、その一環で、PTAの名前がなくなったとしても、例えばそれに代わる組織が

必ずあると思いますので、それは学校とこれまでのPTAをなくしたということであれば、おそらく様々な協議の中で、それに代わる組織、これでいきましょうと、だけどPTAという組織は一旦なくしていきましょうという話の中だと理解しております。そういった中に、学校と保護者と地域とが連携して図れる組織があれば、その形については、それぞれの学校で決めていただければいいのではないかというのが、我々のスタンスでございます。

引き続き、コミュニティスクールの形も含めて、それぞれの学校とも我々は連絡連携をとりながら、地域の状況もそれぞれあると思いますので、或いはこれまで頑張ってくれていた地域の方々のお力添えというのを十分承知していますので、その辺りのことも、学校の校長先生と連絡をとりながら、適宜その学校に一番何がふさわしいのかということについては、我々は助言していきたいと考えておりますので、今後とも引き続き、お力添えいただければと思います。

A まちづくり推進部長

初石駅の状況についてご説明させていただきます。

現在、初石駅工事していることをご存じだと思うんですけども、初石駅の西口に改札があると思います。あれを、橋上、上にのせてさらに自由通路というのを作りまして、西と東を結んでさらに改札ができるというような工事を進めているところで、令和7年12月完成に向けて、順調に工事は進んでおりますので、この橋上駅舎と自由通路については、予定通り完成する予定でいます。その西口反対側の東口につきましても、広場の方の整備の発注をしまして、自由通路にあわせるような形で広場のほうの整備をしております。西口について、バスが錯綜したりだとか、一般車が入れないとかタクシーも入れなかったりとか、そういう状況になっていることは、我々としても承知をしているところです。この自由通路のすべて整備が終わった段階で、西口の整備についても、今検討しているところです。ただ、西口の用地につきましても、東武鉄道の用地になっていますので、東武鉄道の事業もありますので、東武鉄道とその辺の話をして、広場をどういうふうに改修していくかというのを協議しているところなので、どういう形になるだとか、そういうものについては決まっていませんので、目に見えるような状況になってきたときには、皆様にもご提示していきたいと考えております。

3点目の、初石駅にもぐりーんバスが欲しいというお話があったんですけ

ども、流山市地域公共交通計画というのがございまして、令和4年2月に策定しております。いきなりぐりんバスをいれましょうということではなく、最初に、民間事業者の民間バスにおいて採算がとれるかというのを、まず検討してもらいます。そういう要望があれば、まずそれを検討して、採算がとれないということになった段階で次に、ぐりんバスの運行の検討に入ります。ぐりんバスでももちろんルートも考えなければならないんですけども、ルートを考えた中で、そのルートの中で、収支率は50%取れるかどうかそれを検討します。それがとれなければ、また別の代替手段というながれになってきますので、いきなりぐりんバスを導入するというのが難しいところがあります。

最後にセキチューの近くにバス停がないというところなんですけども、現在、南流山からおおたかの森につながる東武バスが走っているんですけども、ちょうどセキチューの前あたりに1つバス停がございます。

Q 市民

2点あります。

1点目は、全国の自治体で起きつつあるようなんですが、高齢のひとり暮らしが家で亡くなったと。その際に、親族が見つからない場合に、火葬だとか、お骨をどうするかということを自治体が抱えて、何ヶ月も何年もということをしてテレビでも何回か見ました。これは私なんかも子供がいまないので、自分のときどうなるんだろうということは常に考えておりまして、民間企業もそういうことがありますので、民間と契約をしようかとも思いますが、やはりこれは民間企業だと潰れるという可能性もありますので、保証はありません。何回かテレビで見たんですが、横須賀市のように、市と契約して、自分に何かあったときに、こういうふうにしてくれると、もちろん、費用はもちろんお支払いしてというような契約ができて、何かあったときも安心だねというものを作っていただけたらありがたいなと思います。子育てに力を入れて活気がついた街ですので、子育てから死ぬときも安心流山というように、そういうふうに作っていただけたらなと思います。

もう1点は、ここで参加して思ったんですが、市側と市民側と話をする機会というのは本当にいいことだと思います。以前にも参加させてもらったんですけども、市民の方で、町内会ぐらいでしか集まらないことが多いので、問題意識とか何かいろんなものを持った人たちが、町内会を超えて流山

市民だったら集まれるような催し、気軽に何か話ができるようなというものを、市が何か音頭を取ってみたいに何かやっていただけたらなと思いました。

A 健康福祉部長

高齢のひとり暮らしの方の、人生の最期までの過ごし方、その安心ということでの質問だと思うんですけども、確かにご質問の通り、高齢のひとり暮らしの方で、自宅で亡くなられた後に、身内の方を探すのが困難であったり、最終的にお引取りが難しいような事象というのは、年々増えている感じを受けています。そして、ご質問の公的な、市の方で、例えばそのような方々に最後の手だてまでを講じるというようなことが必要じゃないかということなんですけれども、確かに先進的にそういう制度を設けている自治体があることを知っております。今、私たちがご案内できることは、例えば判断能力が低下してきたときの成年後見制度ですとか、見守りだとか財産管理というような手だてをご案内していく果てに、死後事務の委任契約ということが現状のご案内となっています。そして、市がその制度を実施するかどうかというお答えを今私は持っていないんですけども、今後の状況を見ながら、まず皆様のご心配と、それから一人暮らしの方の状況、そういうことを確認しながら、考えていかなければいけないことだと思っています。

A 秘書広報課長

市で催しをして意見交換ができないかということについては、行政出前講座というものがございます。市民の皆様、市内在住の方、あるいは在学の方が10名以上集まって、ある程度テーマを絞って、この話を聞きたい人、意見交換をしたいという場合には、お申し込みいただいて、日程を調整してお話するという制度がございますので、ご活用いただければと思います。なお、窓口としましては、秘書広報課になりますので、よろしくお願いします。

Q 市民

3点ほどお尋ねします。まちづくり推進部長に昨年、おおぐろの森中学校で落ち葉の関係で質問しました。今日も風が強くて、今年は特に暑かったせいか落ち葉の管理というか、土木部長も関連しますし、環境部長もそうです

けども、この落ち葉の管理というのは、樹木の持ち主がやるのか道路に落ちたら道路管理課がやるのか、一般市民もやる人もいる。江戸川台の方で、自主的にやっている人なんか、役所の方でほうきを一本買ってほしいとかというような話も聞いています。樹木の葉っぱがU字溝につまっちゃうとかなりあれなんで、その点について、どこが責任を持ってやるのかが1点。

それから2点目、副市長、ここで前に、市のエアコンの設定温度、よく世間の常識、役所の非常識という言葉も揶揄されていますけども、仕事で行っていますけども、先ほどの食事の時に電気を消してというのは、私も不健康だと思います。せっかく美味しいお弁当、電気を点けて明かるいところで食べる、それをやるんだったら、何で第2庁舎の4階、誰もいないのに電気つけっぱなしなのか。私写真撮っていますけども。

それともう1点、先ほど言われたバスが市庁舎に、私なんかは不便なんですけども、結局、ああいうところに停めるのは役所の職員の車。私写真撮てありますけども、普通一般に言っていて何で市の職員が守れないのか。あとで写真見せますから。それが2点目。

それから3点目。環境部長いつもお世話になります。構想的な質問なんですけど、EVの自動車、今流山市も力を入れていますよね。電気設備なんかやって。脱炭素でやるんだけど、火力が75%なんです。EV車いれても火力発電に頼っていれば、私は脱炭素にならないと思います。柏市の場合は、100%EV車に持ってけるような話も聞いています。流山市はどのぐらいまで持ってけるのか。もし難しければ井崎市長答弁お願いします。

A まちづくり推進部長

1点目の落ち葉清掃について私の方からお答えさせていただきます。

現在市の方では、公園、道路街路樹、そちらにつきましの落ち葉の清掃については、業者の方に委託を出して清掃していることと、あともう一点は、市民の方にもご協力をいただいて、落ち葉を集めていただいて、その際には、市の方からゴミ袋を提供させていただいて、そのゴミ袋に落ち葉を入れていただいたら、市の業者の方で回収させていただくというのが実情ですけども、実際現場を見ますと、落ち葉が柵とかにたまっていて、雨が降ったときに溢れた状況というのも私も確認しているところがあります。今後、植樹をもちろん進めていくんですけども、植える植種についても、これから十分検討していきたいと考えて植えていきたいと考えております。

A 副市長

エアコンの設定温度の話は、電力需要の不足によって、夏は 28 度に設定しています。それからご指摘いただいた昼休みの節電は、職員の節電意識を高めるといようなことで、私の知っている話では、10 年以上前からやっていると思うんですけど、精神衛生上、ご飯が口に入らないじゃないかという批判もあることも承知しております。その辺は、どちらを優先するかはよく検討したいと思います。第 2 庁舎 4 階の電気がつけばなしということですが、財産活用課で管理をしておりますので、必ず他とバランスが取れるような形に対応してまいります。

A 環境部長

E V 電気の話なんですけども、確かに、火力発電所で作られた電気であれば、脱炭素に貢献していないのかもしれませんが。ただ、電気は色々な方法で調達することができます。例えば太陽光ですとか、或いは水力発電ですとか、東京電力であっても色々なメニューがございますので、そういったところから電気が使えるような形で、皆さんに利用できるように、啓発等今後も続けていきたいというふうに思っております。

あと市役所の電気自動車の話なんですけども、私たち環境部としては、市役所の車は大体リースなんですけど、リース契約が終了した後は、電気自動車にしてくださいという形でお願いしているところです。

ただ、施設によっては、充電施設とかそういったものが必要な場所もありますので、なかなか替えにくいところもあるんですけども、できるだけ多く電気自動車に替えていく形で進めていくようにしております。

Q 市民

昨日乾電池の捨て方について、電話で問い合わせをしました。クリーンセンターに。そうしましたら電話に出た人が、重量計の受付に来てくれればわかるよと言われました。ただ、クリーンセンターの職員が 1 番にもっていくのか 2 番にもっていくのか。クリーンセンター 1 番と 2 番ありますよね。燃えるゴミ、燃えないゴミ。どっちなんですかって聞いたら分からないだって。受付で聞いてくれればできるって。強い口調で言われたので、環境政策課に電話しました。質問は、その担当課の事業について、職員が知らないのはおかしいんじゃないかと思います。話をされていてわからなければ、担当者に代

われればいいだけであって。まさか、市の職員が、DXになってないでしょうから。そういうところをクリーンセンターだけじゃなく、市の職員全部当たります。

あと1つ、市役所の窓口に行くと、北側の窓はブラインドが閉まっています。市民課だと薄暗いんですよね。ブラインドあければいいのになって言ったら、いや個人情報盗まれちゃうとか言っているんだけど、窓から見ると、背の高いロッカーばっかしなんです。ブラインドの使い方って、職員の方知らないっていうことはないよね。

A 環境部長

大変ご迷惑をおかけして申し訳ございませんでした。

担当者の方に、しっかり教育をする形でやっていきたいと思います。申し訳ございませんでした。

A 市民生活部長

市民課に限らず、1階で業務を行っている担当課につきましては、確認させていただきますので、よろしくお願いいたします。

Q 市民

いつも生活を支えていただきましてありがとうございます。

要望と意見と半々な感じになるんですけれども。私3人子育てをしております、小学校からのメール配信についての意見です。

多い日は1人につき、5・6件メールが届きます。内容は小学校発信のものあれば、教育委員会からのいろいろなご紹介のメールがございます。なかなか、見切れないというのが正直なところでして、1人につき5・6件というふうに届いてくると、どうしてもたまってしまう。何を優先して見たらいいのかなというところがあります。教育委員会からお知らせいただいているものは、大体紹介というか、参考というか、イベントのご紹介といったものが多いんですけれども、中身を見ていきますと、直近のこの1ヶ月では例えば、マネースクールのご紹介やボイストレーニング体験イベントのご紹介とちょっと宣伝に近いのかなというような内容もいくつか含まれておりました。大事な情報を見落としてしまうということもありますので、例えば、その参考の情報につきましては、2・3まとめてお送りいただくとか、1件1

件というのではなく、まとめてお送りいただくような工夫をしていただくとか、例えばタイトルに参考とかお知らせとか、何かそういった工夫をしていただけないかなと思っています。普段、パソコンでメールを見ていますと、削除が楽なんですけれども、どうしてもスマホだと1件1件削除しなきゃいけない、開くのにも時間がかかる。そういった繰り返しがしんどいなと思うときも多々ありますので、何かそういった工夫をしていただければ大変助かります。よろしくお願いします。

A 学校教育部長

ご意見本当ありがとうございます。

我々も、この件につきましては、今検討しているところで、まさにおっしゃる通りでございます。緊急の連絡が見落とされてしまうということが一番懸念されていることでもあるので、市のLINEが今度始まりましたので、そこでおっしゃっていただいた内容のものについて投げさせていただくであとか、工夫をして、少なくともスキットメールに流れる情報につきましては、本当に必要不可欠なもののみにしていく方向で、検討しているところでございます。近々で対応させていただきます。ご迷惑をかけて申し訳ございませんでした。ありがとうございます。

Q 市民

会の運営で、皆さんいろいろ考えていて、すごいなと思って聞かせていただきました。ただ、もう少し時間をとってもいいのかなというふうに思っています。質問に対して、説明をしていただいて、また何か違うんじゃないのかということだってあるので、やっぱり一方的じゃない、双方向にするにはやっぱり時間をもっととっていただかないとできないなというふうに思いました。

教育長がおっしゃっていましたが、学校教育法11条はわかっていますが、保護者の負担というのは、教育の無償化の憲法精神から違うんじゃないのという世の中の動きになっているのではないかと私は思っています。あと1ヶ月しかないのに、今準備しています、検討しています、決めてないよと言われても、あと1ヶ月で決めちゃうんじゃないかなと心配していますので絶対そういうことがないようにしてください。

それからあと、運河のことですが、いつも言われるんです。お金がない

よ、地権者大事だ、私もよくわかるんですけども、お金をもっと積めば、命が大事って言うてくだされば何とかなるんじゃないか。

あともう1つ、市長様に、命と、まちづくり、観光とかどっちが優先なのかっていうのを、肉声で聞かせていただければなっていうふうに私は思っております。

A 市長

まず、市民の命と財産を守る安心安全が最優先であります。

ただし、1つの地域を運営していく或いは経営していくという意味では、おそらく先ほど命というそれから例えば障害のあるなしにかかわらず、安心して生活ができるという意味では、福祉も大変重要ですし、それから多様性でいろんな方の人権が守られて、自分の個性を発揮できるような環境づくりってこれ大変重要です。

それと同時に、地域の経済も活性化していくことも重要です。どちらが重要というより、どちらか欠けても、私はどちらかだけっていうことは、社会としてありえないので、やっぱり両方バランスをとりながら、流山市が末永く発展していけるような環境づくり、良質な住環境や都市環境、そして、おひとりおひとりが、流山に住み続けたいと思っていただけるような環境を作っていくということは、これは重要で、命と健康のところを守っていく、それから防災などについてはやっぱり優先度を高くしてやっていくべきだというふうに考えています。どちらかだけでいいということではないんですね。両方必要だというふうに思います。

以上